

講義名	対)研究演習		
講義コード	55407	授業形態	
担当教員	秦 洋二	備考	

学部・学科	演習分野
全学部全学科	秦 洋二ゼミナール（流通・マーケティング論）

概要説明

みなさんは普段色々な店で買い物をしています。少し高級な服を買う時は、デパートに行くでしょうし、食料品や生活雑貨はスーパーで買うかもしれません。ニュースやお弁当などは近くのコンビニで買うことが多いでしょうか。本ゼミでは商業・流通の活動が行われている現場に注目し、流通やマーケティングの理論が現実社会においてどのように適用できるのか、また現実社会で起きている現象から、どのような理論が導き出せるのかを考えていきます。そのためには自分自身の目で、実際に地域を歩いてみる必要があります。本ゼミでは全員でフィールドワーク（現地観察）を行います。どこに行っても、何を観察するかはゼミ生自身で決めます。

3年次以降は社会連携企画、アクティブラーニングにも積極的に参加します。ゼミの時間以外でも作業が必要なことが増えますが、その分やり甲斐も大きくなります。卒業研究では、自分自身で自由にテーマを決めて卒業論文の作成に取り組みます。

教室ですら勉強だけでは満足できない人、積極的に外に出てみたい人、そして頑張るときは頑張る、遊ぶときは遊ぶ、メリハリの効いた学生生活を送りたい人は、是非ガイダンスを聞きに来てください。

主な卒業論文のタイトル

- ・バラエティ番組の現状と今後
 - ・喫煙者と非喫煙者の共存社会
 - ・大型スーパーの浸出と商店街の衰退
 - ・パチスロの人気・不人気
 - ・大学生の食生活について - 大学生の実態 -
 - ・サッカーバイク市場におけるナイキのマーケティング戦略
 - ・中古車市場の今後 - 中古車人気の推移 -
 - ・富山の鉄道交通について
 - ・宅急便の配達システムと効率化
 - ・兵庫県酒蔵の立地分析
 - ・若者の車離れ
 - ・明石市コミュニティバス「たこバス」の存続理由
 - ・ヒップホップの始まりから現代への影響
 - ・EC市場における消費者の関わり方
 - ・非喫煙エリアでの若者の喫煙行動
 - ・黒田官兵衛の歴史の真相についての研究
- 他多数

教員よりの要望

知り合いに会ったら挨拶をする、そういった一人の人間として基本的な、しかし重要なことを疎かにしない人、様々なことに好奇心を持ち、何事にも積極的に取り組む意欲ある人の参加を期待します。

選考方法

- ・ゼミの個別ガイダンスには必ず出席してください。ガイダンスに来なかった人の応募は原則認めません。
- ・応募者多数の場合は、自己紹介書類の内容、成績等から総合的に判断します。場合によって面接を実施します。
- ・本ゼミは参加者全員の共同作業によって運営されます。皆と力を合わせて仕事ができる人、自分勝手な振る舞いをしない人に来て頂きたいと思っています。

評価方法

出席を重視します。それに加えて、演習への取り組みや態度、発表内容などを総合的に判断して評価します。
遅刻、無断欠席は厳禁です。
講義形式の変更があった場合でも評価方法は変更しません。

教員英字氏名	研究室
YUJI HATA	3 1 3 研究室

最終学歴
九州大学大学院人文科学府歴史空間論専攻博士課程修了

学位
博士（文学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

【著書】
『日本の出版物流通システム - 取次と書店の関係から読み解く - 』九州大学出版会、2015（単著）
『小商圏時代の流通システム』古今書院、2013（分担執筆）

【論文】
“Regeneration” of urban functions: a case study of Otsubaka Street, Kobe City 『The 11th Society of Asian Retailing and Distribution (SARD) Workshop proceeding.』 2013, pp.325-337
帳合書店の分布状況からみた取次会社間の競争 流通科学大学論集-流通・経営編-第25巻, 2012, pp.87-104

趣味・特技
買う物がないのにお店を見に行ったりするのが好きです。

所属
商学部マーケティング学科

所属学会
日本商業学会、日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、地理科学学会、地理空間学会、日本出版学会、サービス学会、兵庫地理学協会

専門分野
流通論、サービス・マーケティング、経済地理学

担当科目
商業起業論、基礎知識（地理）、小売業の使命と魅力、海外マーケティング研修、流通科学入門、商業立地論、研究演習、研究演習、卒論演習、など

備考
このゼミでは2、3年では現地調査・フィールドワークを行います。行き先は皆で話し合って決めます。交通費等一部自己負担をお願いする場合があります。卒業論文のテーマは自分で考えて決めて頂きます。原則対面型で行いますが、状況によっては遠隔講義になります。その場合は適宜指示します。

実務経験の有無及び活用